

「大分果研4号(ゼリーオレンジ・サンセレブ)」の無加温栽培について

農業研究部 果樹グループ

1. 研究の背景

重油価格の上昇などによるハウスマシンの遊休施設(ハウス)の有効活用のため、無加温栽培で高品質果実が生産できるカンキツ品種の栽培技術を確立することが重要となっている。

今回、無加温栽培でも年末商材として年内収穫可能であり、かつ食感も優れる大分県のオリジナル品種「大分果研4号(商標登録名:ゼリーオレンジ・サンセレブ)」の温度条件と果実品質について検討した。

2. 研究成果の内容・普及のポイント

「大分果研4号」の無加温栽培は、被覆時期を2月下旬～3月上旬、満開期が4月中旬頃とすると、満開後240日頃の12月上旬頃にBrixが11～12度、クエン酸含量は概ね1%の果実品質となる。

ただし無加温栽培では開花時期の温度の日較差が大きいため、果梗部にデコ(凸)が発生し果形指数が100以下となり果形が悪くなることに注意する必要がある。

表1 「大分果研4号」の無加温栽培における満開日と収穫日(2016～2018年)

栽培方法	年度	サイド被覆日 または 加温開始日	ビニール	設定温度	満開日	満開まで の日数	収穫日	満開から収穫 までの日数
無加温栽培	2016年	3月8日	1重	自然温度～25℃	4月22日	46日	12月20日	243日
	2017年	3月7日	1重	自然温度～30℃	4月22日	47日	11月27日	220日
	2018年	2月20日	1重	自然温度～30℃	4月11日	51日	12月6日	239日

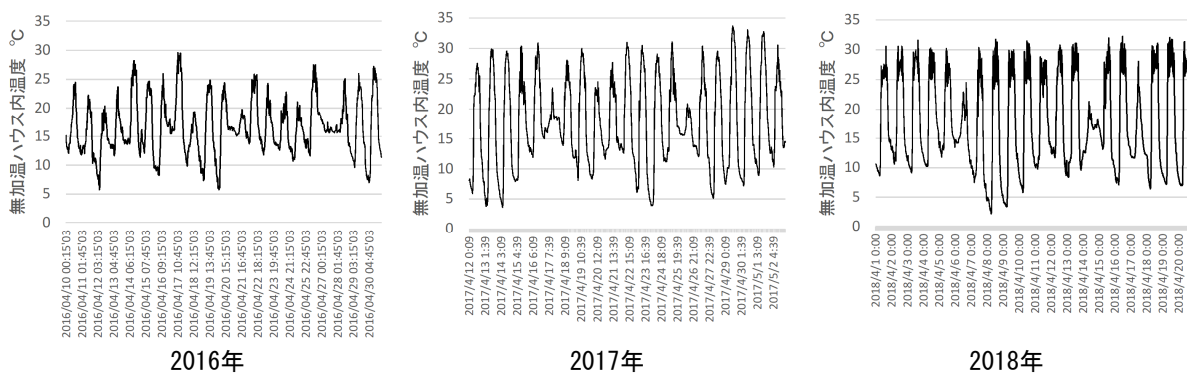


図1 無加温栽培における開花時期のハウス内温度

表2 「大分果研4号」の無加温栽培における収穫時の果実品質と1樹あたり収量(2016～2018年)

栽培方法	年度	採集 月日	分析 月日	横径	果形 指数	1果平 均重	Brix	クエン酸	1樹当たり 収量
				mm		g		%	kg
無加温栽培	2016年	12/20	12/22	-	97	251.3	11.1	1.05	30.2
	2017年	11/27	12/4	72.2	97	188.0	11.2	1.08	52.5
	2018年	12/6	12/7	72.0	83	217.4	12.7	1.08	41.0

3. 期待される効果

- ・遊休ハウスの活用につながり、生産者の所得が向上する。

4. 担当機関連絡先

農業研究部 果樹グループ 温州ミカンチーム
TEL: 0978-72-0407
住所: 国東市国東町小原4402

